

NEWS LETTER

vol.4

発行日 2011.2.23



香川大学 男女共同参画推進室 olive・heart

第1回農学部キャリアデザイン講座を開催しました。

～大学、研究機関、企業で活躍する卒業生から女子学生へのメッセージ～

2月10日、農学部にて香川大学卒業生のアストラゼネカ株式会社の竹橋 明香さん、岡山大学 資源植物科学研究所の三谷 奈見季さん、独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構近畿中国四国農業研究センター國土 祐未子さんをお招きしてキャリアデザイン講座を開催しました。



身近な先輩の話に「とてもよい刺激になりました。漠然としていた自分の生活がまた引き締まったような気がします。3人の方のようにすてきな女性になれるよう今を一生懸命に生活したいと思います」「私は漠然と進路選択に迷っているところだったので、お話が聞けてよかったです。いろんな人生があることを強く感じました。どんな選択をしてもいいんだよ！と言ってもらえた気がして少し楽になりました」と好評でした。アンケートでは「とても参考になった」「また開催してほしい」との声が多く聞かれましたが、就職の悩みがあっても「キャリアカウンセリング」は受けたことがない学生が多いこともわかりました。参加女子14名、男子3名。

3月は女子学生のキャリア相談を応援するため、女性カウンセラーの相談日を増設。どうぞご相談ください。

農学部 女子学生の進路相談応援します！

将来に不安を抱えているみなさんキャリア相談を受けてみませんか。対象は女子学生、学年は問いません。女性カウンセラーがあなたの悩みに答えます。

日時：3月10日（木）13：00～17：00

24日（木）13：00～17：00

場所：農学部A304講義室

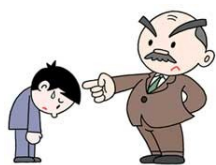
担当：キャリア支援センター相談員 秋本裕子(キャリアカウンセラー)

予約：学務もしくは就職担当にお申し込みください。（要予約）

全学向け講演会「安心して働ける・学べる安全な環境作り」開催します。

「安心して働ける・学べる安全な環境作り ～セクハラ・パワハラ・デートDV対応～」

安全な環境作りは大学の責任。セクハラやパワハラの対策について法的な枠組み、その対応、対策マニュアルの作成などについてしっかり学習しましょう。また、最近話題の学生のデートDVの問題についてもお話しいたします。



日時：3月17日（木）13：30～15：10

講師：井口 博 先生（東京ゆまにて法律事務所・ジェンダー法学会理事）

会場：研究交流棟5階 研究者交流スペース

さんかくんバッチ



香川大学は、「次世代育成支援対策促進法」に基づき第3期「一般事業主行動計画」を策定、4月19日に「くるみんマーク」を取得しました。教職員の働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備を進め、仕事と子育てを両立し、生き生きとそれぞれの能力を十分発揮できる職場づくりを目指しています。既婚未婚に関わらず、子どもの有無に関わらず、大学すべての構成員が安心して働ける職場になるように、ワーク・ライフ・バランスを大切にしていきたいものです。育児だけでなく、ご両親や身近な大切な人の介護の問題は皆さんの問題です。育児・介護等に取り組む教職員への配慮を確かなものにし、制度の周知を広げる応援マークとして「さんかくん」を活用していきます。また現在「ワーク・ライフ・バランスハンドブック」を作成中です。HPでも情報発信をしていきます。

今は子どもとの時間を大切にしています



松本 博雄 准教授

今回は教育学部の松本博雄准教授に、教育学部の江田真奈美さん・松岡沙紀さん・白川綾香さんと一緒にお話を伺いました。

Q：お子さまはおいくつですか？

5歳、2歳半、6か月でみんな女の子です。授業に一番下の子は連れてきましたが、子どもと一緒にいると父親の顔になってしまいます。（笑）子育てで一番大変だったのは、上の子の夜泣き。1歳から3歳までずっと悩まされました。夫婦とも発達心理学の研究者ですが、結局原因はわかりませんでした。妻と私の子育ては6：4くらいの割合。近くに両親も居ないので二人でしないと子育てが回っていきません。我が家はもともと家事は当番制ではなく、手が空いている方がする。今は単身赴任なので、週末帰った時にせっせとまとめて働いています。

Q：現在単身赴任中とのことですが、香川に行くと言ったとき、お連れ合いはいいよと言ってくれましたか？

私は大学教員9年目の転職でしたが、妻に背中を押してもらいました。妻に負担をかけていると思う。研究者をしている夫婦は、離れて暮らしていることが本当に多いんです。結婚当初の1年は妻の仕事の関係で別居でした。今回、妻が香川に来るにしても仕事思うように見つからない。でもお互い「幼児期の子ども」への思いが強いので、「今が大事」といっしょに暮らすことを決めました。もし妻にチャンスが来たら「いいよ」と言って、今度は自分がついていけるよう今は大学の仕事をやり切りたいです。

Q：お子さまの保育園は？

わが子はみんな2か月の時から保育園に通ってます。自分たちが保育の研究をしているので保育者を信頼している。自分の力を信じてないから色々な人に見てもらう方がいい。子どもにとって色々な人に出会えることが財産だと思います。住まいも保育園も大学のそばに決めました。迎えに行くと子連れで仕事しに職場に戻れます。先日、市役所の面接に緊張して行きましたが、丁寧に対応してもらえました。高松の保育園事情はいいです。

Q：香川大学の子育てに取り組む男性にエールを

子育ては「こうでなきゃだめ」は案外少ないもの。結構ハードな状況になっても何とか乗り切れるものです。そして、子育てをしていると世界が広がります。子どもを通して大学以外の人とも知り合えます。保育園の「父ちゃん会」も楽しいですよ。出会いの広がりを面白がってほしい。子どもに試される中で自分の弱さもわかります。子育ては出会い。手間だと思うず楽しくやってほしいです。

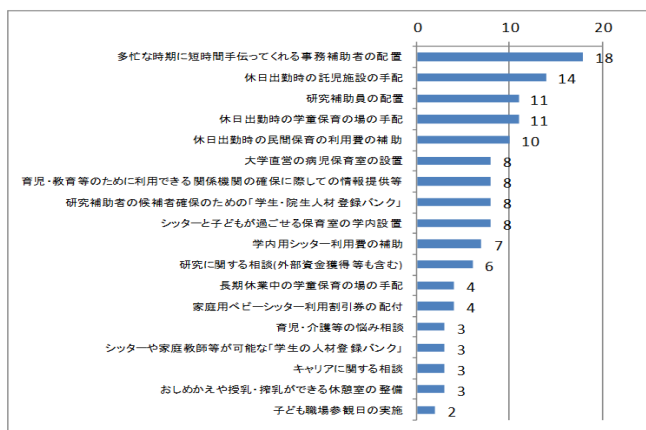
アンケート結果報告

以前行ったアンケート結果について報告いたします。ご回答いただきました皆さま、たくさんのご意見ありがとうございました。

『今後実施を希望する事業はありますか？』という問いに対して右記のような結果を得ました。

また、その他の具体的要望として、下記のようなご意見もいただきました。

- ・在宅勤務を含む柔軟な勤務形態
- ・病中、病後で登園等が不可能で、休めない仕事があった場合、一時的に保育をお願いできる施設が学内にもあればなあと思います。
- ・ポストクや研究補助員の現状把握がほしいです。
- ・例えば小学校等の臨時教員のよう、出産・育児にかかる休業期間に、任期付きの臨時教員が雇えるようなシステムがあれば、気兼ねなく休めるのではないかと思います。
- ・せっかく教育学部に幼児教育の教室があるので、その学生のアルバイト活用も考えられたら良いのではと思います。
- ・特に、小学校によって放課後子ども教室の有無や、利用できる時間・学年(ほとんどの場合、18時まで、小学校3年まで。4年生以上はみてくれない)で、保育所よりも小学生の方が制限が大きいと思います。この点を大学としてどのようにフォローできるかです。



香川大学 男女共同参画推進室 olive・heart



香川県高松市
幸町1-1
北5号館1階

電話：087 (832) 1055
FAX：087 (832) 1057



電子メール: sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp
HP: <http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

他にもたくさんのご要望をいただきました。少しでも対処できるよう努力していきますので今後ともよろしくお願いします。